

「やまがた雪フェスティバル」開催！

～おもしろい雪遊びさ あべ♪～

山形県商工労働観光部観光立県推進課 早川昭博

本文は2段組、10pt.明朝系フォントを使用。行間は16pt. 1段の文字数は表題・所属を含めると25文字46行となる。

1 開催日

期 日 平成28年1月29日(金)～31日(日)

2 会 場

最上川ふるさと総合公園(山形県寒河江市)

3 実施主体

雪祭り実行委員会(山形県、寒河江市、西村山郡4町、商工会、農協、大学など)

4 開催趣旨

冬季間は観光客が減少する時期となっており、冬季の観光誘客の底上げは本県における重要な課題です。

雪国山形県の魅力的な「冬を楽しむ」という視点を打ち出し、冬の観光流動を創り出す取組みを進めていくことや、マイナスイメージが持たれる「雪」を貴重な“地域資源”として活かし、経済活性化に結び付け、プラスのイメージに変えていくことも大切です。

「やまがた雪フェスティバル」は、主に2月以降に開催される県内各地の雪まつりのオープニングイベントとして位置付けており、その後に開催される雪まつりの宣伝を行うことで、県内各地への再訪・回遊を促進していくものです。

また、「雪」は、外国人観光客に対する訴求力が高いことから、このフェスティバルをインバウンドにおける冬季観光の核となるイベントとして位置付け、台湾やASEANから、本県への冬季観光誘客に繋げていくこととしています。

5 多くのお客様で賑わった3日間

初日の29日には、オープニング式典を行い、イルミネーションの点灯、花火の打ち上げで幕開けとなりました。メインゲートでは、県の礎を築いた最上川舟運の船をモチーフにし、船には福をもたらす七福神をイメージした山形県と1市4町のゆるキャラが乗った「シンボル雪像」や市民参加型雪像「やまがた式イグルー」のお出迎えがあり、メインステージでは、プロジェクションマッピングやアーティストライブが繰り広げられたほか、会場内では、各地域のラーメン・地元の鍋料理などを味わえる「雪見横丁」での「うまいもの展」、ワークショップや物産販売、県内各地の雪祭りのPRが行われ、それぞれ長い行列ができるなど盛況でした。

また、2日目からは「雪上宝探し」や「雪すべり」、「雪だるまづくり」などの雪遊び体験や1000発の冬の打上げ花火で大変盛り上がりました。



冬の夜空に輝く雪フェスタ花火



雪と光のイルミネーション シャイニングリバー



多くのお客様で賑わう雪見横丁



シンボル雪像前でのアーティストライブ



子どもたちに大人気！チューブ滑り



ゆるきゃら大集合！



市民手づくりのミニ雪像



寒河江名物のやきとり

海外からは、台湾、韓国からのツアー客や、台湾、香港、韓国、中国、タイ、シンガポールの旅行会社・メディア等の方々も御来場され、本県の雪の魅力、冬の山形の魅力の一端を楽しんでいただきました。母国での冬の山形の魅力発信に結びつくものと期待しています。

来場者の方々からは「大きな雪像やプロジェクションマッピングを初めて見て感動した」、「イルミネーションや冬花火がロマンチックだった」、「雪国衣裳体験やわらぐつつくりなど、昔を思い出し、山形の歴史や文化を再認識できた」、「雪遊びやあったかい食など、家族みんなで楽しむことができた」といった感想をいただきました。

期間中、天候にも恵まれ、3日間の来場者数は、16万1千人となり、大成功のうちに幕を閉じることができました。

6 次回開催に向けて

国内外の大勢の方々に“山形の冬の魅力”“雪の楽しさ”を体感いただくことや各地で開かれる雪祭りが今まで以上に盛り上がっていくことをさらに期待しながら、来年以降も冬季観光の起爆剤として「山形の冬の魅力」「雪の楽しさ」を発信し、冬季の観光誘客の底上げに結びつけていきたいと考えております。

